

VTR



VTR機能を使う

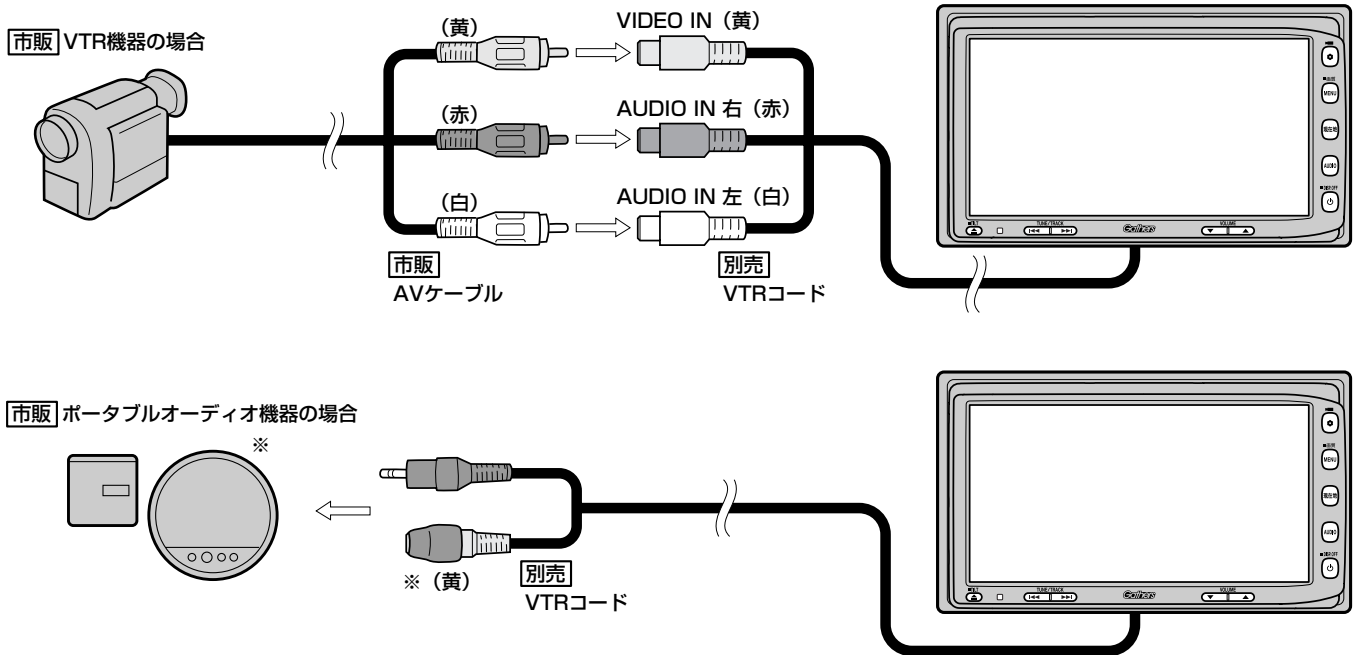
市販のVTR機器やポータブルオーディオ機器などの外部入力装置を利用した映像や音声を本機に出力することができます。出力するには、別売のVTRコードをお買い求めください。



VTR機器などの映像は安全上の配慮から、停車中のみご覧になることができます。(走行中は音声のみになります。)

1

別売のVTRコードを使用して本機に市販のポータブルオーディオ機器やVTR機器を接続する。



*DVDプレーヤー等の場合に使用します。

2

使用する機器の電源を入れる。

※他のモードになった場合は

1. パネルの **AUDIO** ボタンを押して AV MENU画面を表示させ、
2. 画面の **VTR** ボタンをタッチして、VTRモードに切り替えてください。

AV MENU画面



1 **AUDIO** ボタン

3

VTR機器やポータブルオーディオ機器を操作する。

※操作のしかたはそれぞれの機器に付属の説明書をご覧ください。



お願い

本機の電源をOFF(エンジンスイッチをO(OFF)に)する場合は、接続される機器の電源も一緒にOFFしてください。

■ 音量や画質、オーディオの調整をする場合

- 🔊 「音量を調整する」 26ページ
- 🖼️ 「画質調整のしかた」 27～29ページ
- 🔊 「オーディオの調整をする」 31～43ページ



VTRから入力された音声を聞きながら地図を見たりナビゲーションの操作をすることができます。

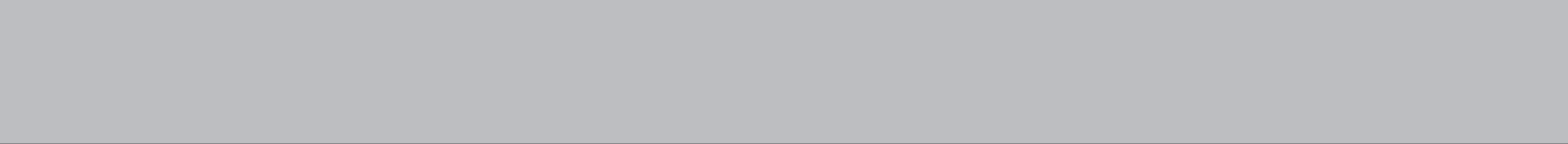
- 🔊 「音声はそのまま、ナビゲーション画面を表示する」 24ページ



- VTR端子から入力された映像や音声はVTRモードにすることにより見たり、聞くことができます。
- **ボタン消** ボタンをタッチするとボタンと情報バー表示を消します。
- **Quick** ボタンをタッチするとQuickメニュー画面が表示され、機能選択をすることができます。
(🔊 354ページ)
- 接続した機器によっては映像や音が出ない場合があります。
- 接続した機器に音量調整機能がある場合は、本機の音声とバランスをとるようにしてください。
(調整してください。)
- 下記レベルを超えた機器を接続した場合、映像や音にひずみなどが生じ、正常に動作しない場合があります。

AV入力端子 (RCA×1系統)

映像入力レベル	1 Vpp (入力インピーダンス75Ω)
音声最大入力レベル	2.0V (入力インピーダンス47KΩ)



SD(SDカード)

SDカードの音楽再生について	256~258
SDカードを使う	259~269
各部の名称とはたらき	259
表示部(再生画面)について	260
SDカードを聞く	261、262
SDモードを終了する	262
SDカードを取り出す	262
操作パネル上のボタンにて1曲ずつ選曲する (トラックを戻す/進める)	263
早戻し/早送りをする	263
リスト表示より好きなトラックまたはフォルダを 選び再生させる	264、265
選曲モードより選択し再生させる	266、267
再生モードを選択する (リピート/ランダム/スキャン再生)	268、269

SDカードの音楽再生について(1)

パソコンからSDカードにMP3/WMA/AAC形式で編集された音楽データを本機で再生することができます。

■SDロゴは商標です。 

■SDHCロゴは商標です。 


■本機はclass2、class4、class6のSDHCカードに対応しています。

■MP3/WMA/AACは音声圧縮フォーマットです。

■AACとはAdvanced Audio Codingの略でMPEG2、MPEG4で使用される音声圧縮技術に関する標準フォーマットです。MP3/WMAなどより高い圧縮率で音楽ファイルを作成・保存することができます。非圧縮のCDオーディオに迫る高音質を得ることができます。

※MP3/WMAの説明につきましては88ページを参照してください。

■SDカードについて

- 16GBまでの容量のSDカードに対応しています。
- SDカードに記録されている音楽データを本機で編集することはできません。
- SDカードの初期化は本機で行なってください。
 「システムの設定について」356、357ページ
- SDモードで音楽再生中にSDカードを抜かないでください。
※SDモードを終了(OFF状態に)させてから抜いてください。
- miniSDカード/microSDカードを使用する場合は必ずminiSDカードアダプター/microSDカードアダプターを使用し、正しい挿入方向をご確認ください。必ずアダプターごと抜き差しし、本機にアダプターを残さないようにしてください。
- microSDカードをminiSDカードアダプターに装着し、更にSDカードアダプターに装着して使用しないでください。
- 本機で再生する音楽データは必ずバックアップをしてください。使用状況によってはSDカードの保存内容が失われる恐れがあります。消失したデータについては補償できませんのであらかじめご了承ください。
- SDカードの書き込みが可能な状態で使用してください。
- 長時間使用しないときは本機から取り出してください。
- ゴミやほこり、そりなどをさけるため、必ずケースに入れて保管してください。
- 端子部には手や金属などで触れないでください。
- 強い衝撃を与えたり、曲げたり、落としたりしないでください。
- 分解したり、改造したりしないでください。
- 水にぬらさないでください。
- 以下のような場所でのご使用や保存はしないでください。
 - ・使用条件範囲以外の場所（炎天下や夏場の窓を閉め切った車の中、直射日光のあたる場所、熱器具の近くなど）
 - ・湿気の多い場所や腐食性のものがある場所

■操作可能な機能と対応可能なSDカードの組み合わせは以下のとおりとなります。

SDカードの種類		機能	静止画像の閲覧と 本機への保存 別冊ナビゲーション編 78～83ページ	音楽データの再生 259～269ページ			Gracenoteデータベース アップデート 56～62ページ
				MP3	WMA	AAC	
class2	2GB以下		○	○	○	○	
	4GB以上 (SDHC対応)		○	○	○	○	
class4	2GB以下		○	○	○	○	
	4GB以上 (SDHC対応)		○	○	○	○	
class6	2GB以下		○	○	○	○	
	4GB以上 (SDHC対応)		○	○	○	○	

- クラス (class) とは転送速度の最低保証値を規定するものです。
(class2→2MB/sec (16Mbps)、class4→4MB/sec (32Mbps)、class6→6MB/sec (48Mbps))
- SDHCとはSDアソシエーションによって策定された2GBを超えるSDカードの新規格です。
- miniSDカード／microSDカードの場合はアダプターを使用してください。

■MP3／WMA／AACの再生について

- ルートフォルダは一つのフォルダとして数えられます。
- m3u／MP3iフォーマット／MP3 PROフォーマット／ディエンファシスには対応していません。
- 極端にサイズの大きいファイル、極端にサイズの小さいファイルは正常に再生できないことがあります。
- Windows Media Player以外で作成したWMAファイルを再生させた場合、再生、表示等が正常に行なわれない場合があります。
- WMAはWindows Media Audio Standardフォーマット以外のフォーマットには対応しておりません。
- AACファイルのADIFフォーマットには対応しておりません。
- 複数のオーディオプログラムが入っているAACファイルの再生はできません。
- 同一ファイル内にオーディオ以外の情報 (画像など) が同時に収録されているAACファイルの再生はできません。
- AACの対応プロファイルはLow Complexityのみです。
- AAC (m4a) ファイルに画像データ (iTuneのアートワークを除く)、映像データ、その他音楽データでないものが含まれる場合は再生できません。
- 2チャンネル以上のチャンネルを持つ音楽データは再生できません。
- 最大フォルダ階層：8階層／1フォルダ内の最大ファイル数255 (ファイル+フォルダ)／全体の最大ファイル数10000／最大フォルダ数：200となります。
- 選曲モード (266ページ) のフォルダやトラックリストに表示される順番はメディアに書き込まれた順となります。メディアに書き込む手順によってはお客様が予想している順とは異なった順で表示されることがあります。
※正しく表示させるにはファイルの先頭に“01～99”など番号を付け、一度にメディアに書き込むことをおすすめします。
- 著作権保護されたWMA／AACは再生できません。

SDカードの音楽再生について(2)

■再生可能なサンプリング周波数、ビットレートについて

MP3/WMAにつきましては☞92、93ページを参照してください。AACにつきましてはサンプリング周波数16~48kHz、対応ビットレート8~320kbpsとなります。

※32kHz以下のサンプリング周波数のMP3/WMA/AACを再生させた場合、音質が十分に維持できないことがあります。

※64kbps以下のビットレートで作成されたMP3/WMA/AACを再生させた場合、音質が十分に維持できないことがあります。

■ファイル名について

- MP3/WMA/AACと認識し再生するファイルはMP3の拡張子“mp3”/WMAの拡張子“wma”/AACの拡張子“m4a”が付いたものだけです。

※拡張子名は大文字でも小文字でもかまいません。

※異なった拡張子を付けるとファイルを誤認識して再生してしまい、大きな雑音が出てスピーカを破損する場合があります。

- 表示可能文字数は全角32文字、半角64文字となります。

■ID3タグについて

MP3ファイルにはID3タグと呼ばれる付属文字情報を入力することができ、曲のタイトル、アーティスト名などを保存することができます。

- ID3タグバージョン1.xの表示可能文字数は半角30文字です。

- ID3タグバージョン2.xの表示可能文字数は半角64文字です。

- ID3タグバージョン1、バージョン2が混在するMP3ファイルの場合、バージョン2のタグを優先します。

- 本機は日本語に対応していますが、文字コードはシフトJISで書き込んでください。それ以外の文字コードで書き込むと文字化けすることがあります。

※本機が対応しているID3タグはトラック名/アーティスト名/アルバム名/ジャンル名です。
(トラック番号をタグに入れていないファイルはトラック番号を表示しません。)

※WMA/AACタグの表示可能文字数は半角64、全角32文字です。

SDカードを使う(1)

各部の名称とはたらき



① **トラック情報** ボタン

トラックの詳細情報を表示します。

② **トラックリスト** ボタン

トラックリストを表示し、トラックの選択が可能です。
(264、265ページ)

③ **フォルダリスト** ボタン

フォルダリストを表示し、フォルダの選択が可能です。
(264、265ページ)

④ **切替** ボタン

時計のみ表示させて音楽を聞くことができます。
(355ページ)

⑤ **選曲モード** ボタン

選曲モードから再生したい曲を絞り込んで検索することができます。
(266ページ)

⑥ **再生モード** ボタン

リピート/ランダム/スキャン再生の選択をすることができます。
(268、269ページ)

⑦ **AUDIO** ボタン

AV MENU画面を表示します。

※ナビゲーション画面/FM/AM/Digital TV/
CD/DVD/MP3/WMA/Music Rack/
iPod/USB/VTRモードからSDモードに切り替
えるときに使用します。

⑧ **電源** ボタン(⏻)

オーディオモードを開始/終了(OFF状態に)します。
また、2秒以上長押しで画面を消します。

⑨ **TILT** ボタン(▲)

パネルをオープンさせて、
SDカードを入れる/取り出すときに使用します。
(261、262ページ)

⑩ **トラック** ボタン(⏮/⏭)

好きな曲を選びます。
また、このボタンを押し続けると早戻し(⏮)/早送
り(⏭)します。
(263ページ)

⑪ **VOLUME** ボタン

音量の増減を調整します。
▼：音量減 ▲：音量増

⑫ **Quick** ボタン

カスタマイズ機能を使用することができます。
(354ページ)

SDカードを使う(2)

表示部(再生画面)について

The screenshot shows a music player interface with the following elements and callouts:

- 再生時間表示** (Playback Time Display): Points to the '00' 47"' timer.
- 再生状態表示** (Playback Status Display): Points to the play/pause button and the playback mode icons (▶, ▶▶, ◀).
- トラック名表示*** (Track Name Display): Points to the track name 'ウキウキ!'.
- 音場(臨場感)表示** (Sound Field/Immersion Display): Points to the 'REPEAT TRACK', 'LIVE', and 'MP3' buttons.
- 再生ファイル表示** (Playback File Display): Points to the 'MP3', 'WMA', and 'AAC' file format indicators.
- トラック情報表示時(例)** (Track Information Display Example): Points to the track list showing 'ウキウキ!', 'ELYSION', 'ELYSION BEST', 'J-POP', and 'ONLY'.
- トラック名表示** (Track Name Display): Points to the track name in the list.
- アーティスト名表示** (Artist Name Display): Points to 'ELYSION'.
- アルバム名表示** (Album Name Display): Points to 'ELYSION BEST'.
- ジャンル名表示** (Genre Name Display): Points to 'J-POP'.
- フォルダ名表示** (Folder Name Display): Points to 'ONLY'.
- タイトル名** (Title Name): Points to the track name in the list.
- リピート/ランダム/スキラン選択時に表示** (Repeat/Random/Skip Selection Display): Points to the 'REPEAT TRACK', 'LIVE', and 'MP3' buttons.

再生中のファイルを表示します。
MP3 / WMA / AAC

EQ

31~33ページ

※音場を選択していない場合(OFF選択時)は何も表示されません。
※イコライザ設定中はEQマークが表示されます。
34~37ページ

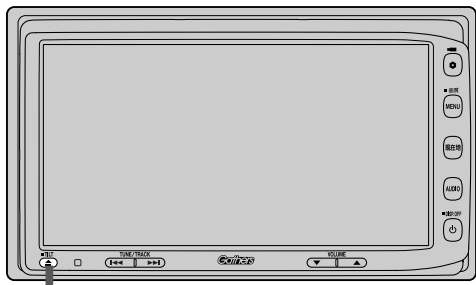
リPEAT/ランダム/スキラン選択時に表示
表示内容につきましては268,269ページを参照してください。



アドバイス

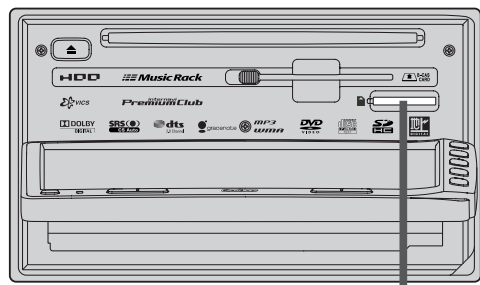
- トラック名/アーティスト名/アルバム名/フォルダ名の表示文字数は全角32(半角64)文字です。
- アルバム名/アーティスト名が記録されていない場合は、“No Title”と表示されます。
※ *印：トラック名がない場合はファイル名を表示します。
- トラック情報表示のとき、タイトル名が表示しきれない場合タイトル名(トラック名/アーティスト名/アルバム名/フォルダ名)をタッチしてスクロールさせ、確認することができます。
※ タイトル名が一巡します。また、スクロール中にタッチするとスクロールを止めます。
※ 画面上部のトラック名が表示しきれない場合は、トラック情報画面/トラックリスト画面/フォルダリスト画面の、どの画面からでもタッチしてスクロールすることができます。

[ディスプレイが閉じた状態]



1 / 3 TILT ボタン (▲)

[ディスプレイが開いた状態]



2 SDカード挿入口

SDカードを聞く

■ SDカード未挿入の場合

- 1 パネルの **TILT** ボタン(▲)を押す。
：ディスプレイが開きます。

- 2 SDカード挿入口にSDカードを差し込む。
：自動でディスプレイ部が閉じます。

■ 他のモード画面を表示している場合

- 前回SDモード画面でOFF(オーディオモードを終了)していた場合

- ① パネルの **電源** ボタン(⏻)を押す。
：前回のつづきからSDカードの再生を始めます。

- ナビゲーション画面または前回SDモード以外のオーディオモード画面の場合

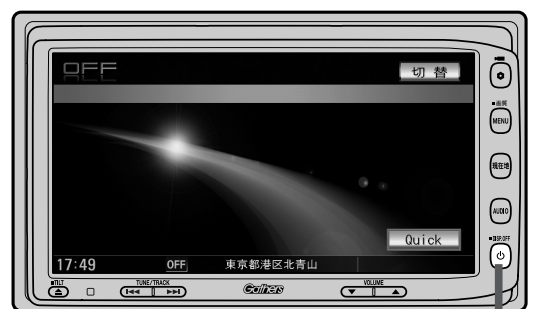
- ① パネルの **AUDIO** ボタンを押す。
：AV MENU画面またはラストモード*画面が表示されます。

- AV MENU画面のときは…
②へ進んでください。

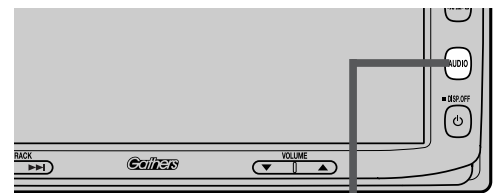
- ラストモード*画面のときは…
もう一度 **AUDIO** ボタンを押す。
：AV MENU画面が表示されます。

* 前回最後に選択していたモード画面(OFF含む)

- ② 画面の **SD** ボタンをタッチする。
：SDカードの再生を始めます。



① 電源 ボタン(⏻)



① AUDIO ボタン

AV MENU画面



②

SDカードを使う(3)

■ 音量や画質、オーディオの調整をする場合

- ☞ 「音量を調整する」 26ページ
- 「画質調整のしかた」 27～29ページ
- 「オーディオの調整をする」 31～43ページ



SDカードの音声を聞きながら地図を見たりナビゲーションの操作をすることができます。

☞ 「音声はそのまま、ナビゲーション画面を表示する」 24ページ

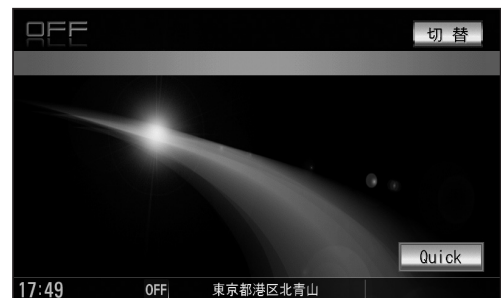
SDモードを終了する

1

- パネルの **電源** ボタン(⏻)を押す。
：画面に“OFF”と表示されSDカードの再生を止めます。
(オーディオモード終了)



1 **電源** ボタン(⏻)



SDカードを取り出す

1

- パネルの **TILT** ボタン(▲)を押す。
：ディスプレイが開きます。

2

- SDカードを1回押し取り出す。



- SDカードを取り出して、再度同じSDカードを挿入し再生を始めると前に再生していたつづきから再生を始めます。
※SDカード認識中に取り出した場合は、最初の曲の頭から再生する場合があります。
- 音楽再生中にSDカードを取り出すとデータがこわれたり、SDカードが破損する恐れがあります。必ずSDモードを終了(OFF)にして取り出してください。

操作パネル上のボタンにて1曲ずつ選曲する(トラックを戻す/進める)

- 1 パネルの **トラック** ボタン(◀◀/▶▶)を押す。
: 前のトラックに戻る、または次のトラックに進みます。



1 **トラック** ボタン

■ 前のトラックに戻る場合

◀◀側を2回押す。

※1回押した場合は再生中の曲(トラック)の頭に戻ります。

■ 次のトラックに進む場合

▶▶側を押す。



画面をタッチしてリスト表示より選択することもできます。

「**リスト表示より好きなトラックまたはフォルダを選び再生させる**」 264、265ページ

早戻し/早送りをする

- 1 パネルの **トラック** ボタン(◀◀/▶▶)を押し続ける。

: 再生中の曲の早戻し/早送りをします。

再生状態表示

- ▶ : 通常再生
- ▶▶ : 早送り
- ◀◀ : 早戻し



1 **トラック** ボタン

■ 早戻しで戻る場合

◀◀側を押し続ける。

■ 早送りで進む場合

▶▶側を押し続ける。



それぞれのボタンから手を離れたところで再生を始めます。

SDカードを使う(4)

リスト表示より好きなトラックまたはフォルダを選び再生させる

選曲モード(☞266ページ)で選択したボタン(全曲/フォルダ)のトラックまたはフォルダをリストより選択再生させることができます。

1

画面の **トラックリスト** ボタンまたは **フォルダリスト** ボタンをタッチする。

※すでに表示させたいリスト表示になっている場合は手順 **1** を省略することができます。

SDモードTOP画面
トラック情報表示時(例)



■ **トラックリスト** ボタンをタッチした場合

：トラックリストが表示されます。



アドバース

選曲モード(☞266ページ)で選択したボタン(全曲/フォルダ)のトラックリスト表示となります。

■ **フォルダリスト** ボタンをタッチした場合

：フォルダリストが表示されます。

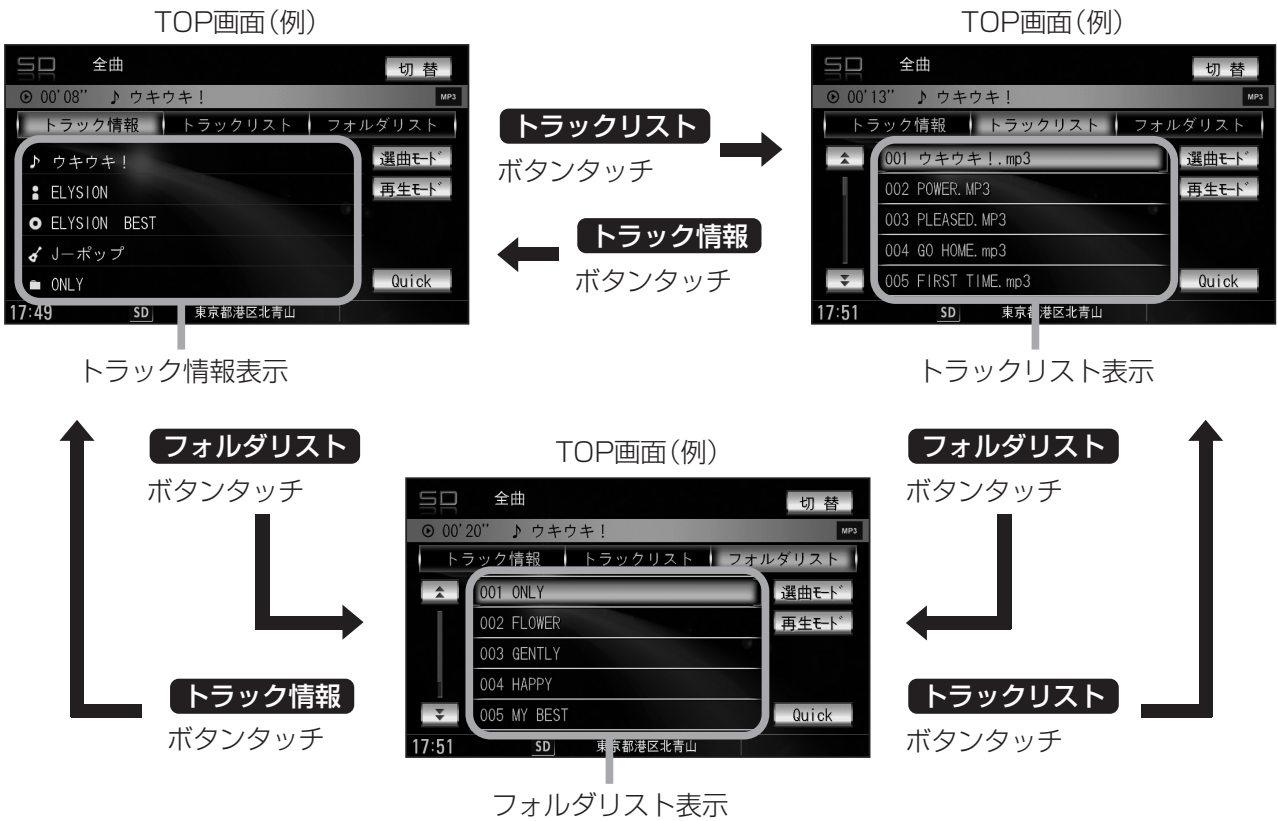


アドバース

選曲モード(☞266ページ)でフォルダを選択した場合は、選択したフォルダのトラックリストを表示します。



SDモードのTOP画面は選択するボタン(**トラック情報** / **トラックリスト** / **フォルダリスト**)によってトラック情報表示/トラックリスト表示/フォルダリスト表示となります。



「リストより選択」

2

再生させたいトラックまたはフォルダをタッチする。

: 選択したリストのトラックが再生されます。



TOP画面をトラック情報表示に戻したい場合は **トラック情報** ボタンをタッチしてください。(上記アドバイス参照)

SDカードを使う(5)

選曲モードより選択し再生させる

聞きたい曲を選曲モードから絞り込んで検索できるので便利です。

1

画面の**選曲モード** ボタンをタッチする。

: 画面右側に選曲モード画面が表示されます。

SDモード TOP画面
(トラック情報表示時(例))



2

選曲モード(**全曲** / **フォルダ** ボタン)

より選曲する方法を選択します。



選曲モード

■ **全曲** ボタンをタッチした場合

: トラックリストの表示とともに、曲が再生されます。

①再生させたいトラックをタッチする。

トラックリスト画面



: 選択した曲を再生します。

■ フォルダ ボタンをタッチした場合

：フォルダリストが表示されます。

①再生させたいフォルダをタッチする。

②再生させたいトラックをタッチする。



：選択したフォルダに収録されているトラックリスト表示とともに曲が再生されます。



：選択した曲を再生します。

3

設定を終わるには…

画面の **戻る** ボタンまたは **閉じる** ボタンをタッチする。

： **戻る** ボタンをタッチすると1つ前の画面に戻り、 **閉じる** ボタンをタッチするとTOP画面に戻ります。



アドバイス

次ページがある場合 ▲ / ▼ ボタンタッチでページ戻し/送り表示をします。

SDカードを使う(6)

再生モードを選択する(リピート/ランダム/スキャン再生)

再生モード(リピート/ランダム/スキャン)を選択することができます。

1

画面の**再生モード** ボタンをタッチする。
: 画面右側に再生モード選択画面が表示されます。

下記手順 **2** で選択した再生モードがマーク表示されます。

SDモード TOP画面(例)



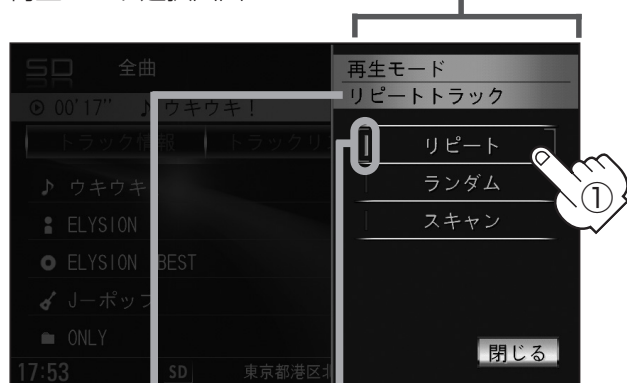
2

再生したいモード(**リピート** / **ランダム** / **スキャン** ボタン)を選択します。

■ リピート(繰り返し)再生する場合

① **リピート** ボタンをタッチする。

再生モード選択画面



選択中の再生モードの
状態を表示

選択時点灯

: 表示灯点灯し、再生中の曲を繰り返し再生します。

- **リピート** ボタンをタッチすることにより下記のように用途が変わります。

今聞いているトラックのリピート再生

(表示灯点灯 /
TOP画面のとき **REPEAT TRACK** マーク表示有)

通常再生(リピート解除)

(表示灯消灯 / マーク表示無)

■ ランダム(順序不同)再生する場合

① **ランダム** ボタンをタッチする。

再生モード選択画面



選択中の再生モードの
状態を表示

選択時点灯

: 表示灯点灯し、リスト内の曲を順序不同再生します。

- **ランダム** ボタンをタッチすることにより下記のように用途が変わります。

今聞いているリストの曲をランダム再生

(表示灯点灯 /
TOP画面のとき **RANDOM** マーク表示有)

通常再生(ランダム解除)

(表示灯消灯 / マーク表示無)

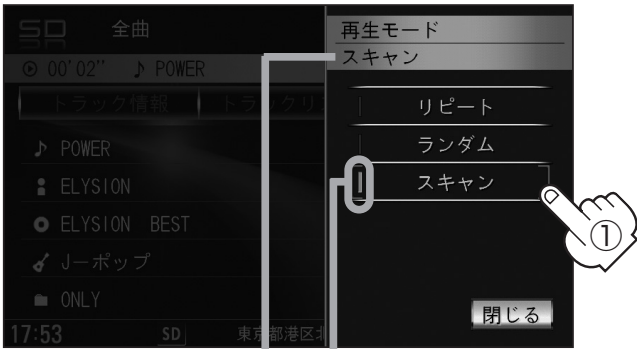


ランダム再生は次に再生する曲を任意に決めるので、同じ曲が連続で再生されることがあります。

■ スキャン(イントロ)再生する場合

① **スキャン** ボタンをタッチする。

再生モード選択画面



選択中の再生モード
の状態を表示

選択時点灯
の状態を表示

：表示灯点灯し、曲の頭(イントロ)を約10秒再生し、次の曲へ移る動作を繰り返します。

- **スキャン** ボタンをタッチするごとに下記のように用途が変わります。

今聞いているリストの曲をスキャン再生

(表示灯点灯／
TOP画面のとき **SCAN** マーク表示有)



通常再生(スキャン解除)

(表示灯消灯／マーク表示無)

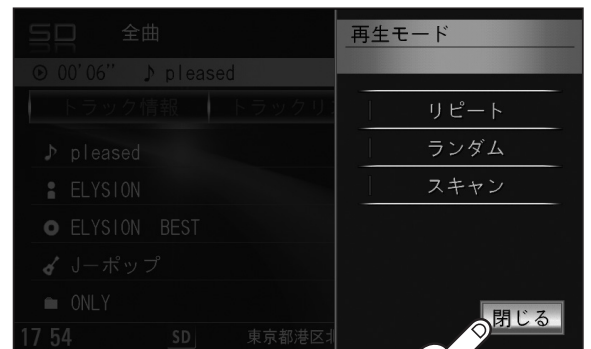


スキャン解除すると再生中の曲で通常再生を続けます。

3 設定を終わるには…

画面の **閉じる** ボタンをタッチする。

：TOP画面に戻ります。



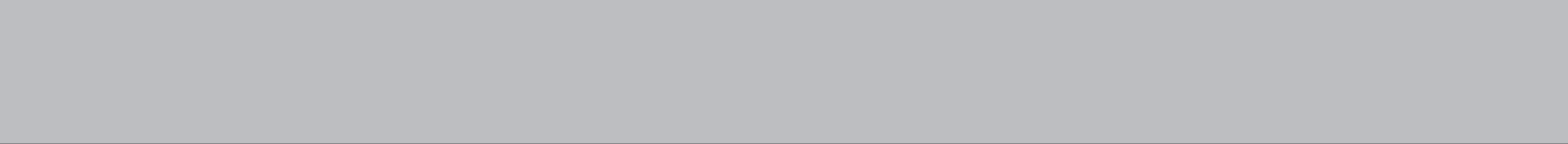
3



マーク表示が消えるまでそれぞれのモード再生を繰り返します。

〔再生モード選択(リピート・ランダム・スキャン再生)〕

SD



iPod

iPodについて	272~275
iPodとは	272
使用上のご注意	272
対応可能なiPod	273
iPodを本機に接続するには	274、275
iPodを本機に接続すると	275
iPodを使う	276~293
各部の名称とはたらき	276
表示部(再生画面)について	277
iPodを聞く	278
iPodモードを終了する	279
再生を止める(一時停止)	279
操作パネル上のボタンにて1曲ずつ選曲する (トラックを戻す/進める)	280
早戻し/早送りをする	280
トラックリストより好きなトラックを選び再生させる	281
選曲モードより選択し再生させる	282~287
再生モードを選択する (リピート/シャッフル再生)	288、289
iPodビデオモードで映像データを再生させる	290~293

iPodについて(1)



"Made for iPod" means that an electronic accessory has been designed to connect specifically to iPod and has been certified by the developer to meet Apple performance standards.

Apple is not responsible for the operation of this device or its compliance with safety and regulatory standards.

iPod is a trademark of Apple Inc., registered in the U.S. and other countries.

iPodとは

iPodとはApple Inc.が提供するポケットサイズの大容量保管装置です。曲やポッドキャスト*、フォト、ビデオデータなどを保管し、手軽に持ち運ぶことが可能です。

「iPod」、「iPhone」は、Apple Inc.の登録商標です。



*印：インターネット経由で配布されるダウンロード可能なラジオ形式の番組

アドバイス

使用上のご注意

- iPodは精密部品が内蔵されています。落としたり、ぶつけたりして損傷を与えないようにしてください。
- iPodを車内に放置しないでください。直射日光や高温などによってiPodの故障の原因となります。
- iPodのデータが紛失しても消去したデータの保証は致しかねます。
- iPod本体の保証は致しかねます。
- iPod本体の取扱説明書もあわせてご確認ください。
- iPodは個人として楽しむなどのほかは、権利者に無断で使用できません。著作権の侵害は法律上禁止されています。
- iPod本体の設定の“EQ”を“オフ”以外にすると、音質が悪くなる場合があります。
- 本機への接続前と取り外し後で、iPodのリピートやシャッフルなどの設定が変わってしまう場合があります。
- iPodのソフトウェアのバージョンによって操作方法／仕様が異なる場合があります。
- 本機にiPodを接続するときはヘッドフォンなどの機器は外してiPod単体としてください。
※外さないと音が出なくなるなど正常に動作しなくなることがあります。
- iPodは本機の状態や車のエンジンスイッチ0(OFF)にかかわらず接続できます。
- 本機で操作可能状態のとき、iPod側での操作はできません。
- 本機はUSBモードからもiPodを再生させることができます。

 「■ USBモードで再生させる場合」 275ページ

対応可能なiPod

モデル名	ソフトウェアバージョン	iPodモードにて再生 (iPod ボタン選択時)		USBモードにて再生 (USB ボタン選択時)	
		音楽再生	ビデオ再生	音楽再生	ビデオ再生
iPhone	2.0以上	○	○	○	×
iPod touch 第2世代	2.1.1以上	○	○	○	×
iPod touch 第1世代	1.1.5以上	○	○ [☆]	○	×
iPod classic	1.0.3以上	○	○	○	×
iPod Video (iPod 第5世代)	1.2.3以上	○	○	○	×
iPod nano 第4世代	1.0以上	○	○	○	×
iPod nano 第3世代	1.0.3以上	○	○	○	×
iPod nano 第2世代	1.1.3以上	○	×	○	×
iPod nano 第1世代	1.3.1以上	○	×	○	×
iPod photo	1.0以上	○	×	×	×
iPod mini	1.2以上	○	×	×	×
iPod 第4世代 (クイックホイール)	3.0.2以上	○	×	×	×

☆：ビデオ再生の場合はソフトウェアバージョン2.0以上である必要があります。

○：対応可能 ×：対応不可



アドバイス

- iPodは最新のソフトウェアをアップル社のWebサイトよりインストールしてご使用ください。
※最新のソフトウェアでない場合、正しく動作できない場合があります。
- 第1、第2、第3世代のiPodには対応していません。
- ソフトウェアのバージョンはiPod本体の“情報”よりご確認ください。
- USBモード(iPodをUSB接続)で再生させている場合、映像(ビデオモード(☞ 290～293ページ))は対応していません。
- iPodを再生させるには以下の方法があります。☞ 19、274、275ページ
 - ・ iPodモードで再生するには別売のiPod接続コードが必要です。
 - ・ USBモードで再生するには別売のUSB接続コード(USBコードA)または別売のUSB接続コード& BeatJamに付属のUSBコードAが必要です。
- 各iPodの仕様につきましてはiPodをお取り扱いの販売店へお問い合わせください。

「iPodとは」／「使用上のご注意」

iPod

「対応可能機種」

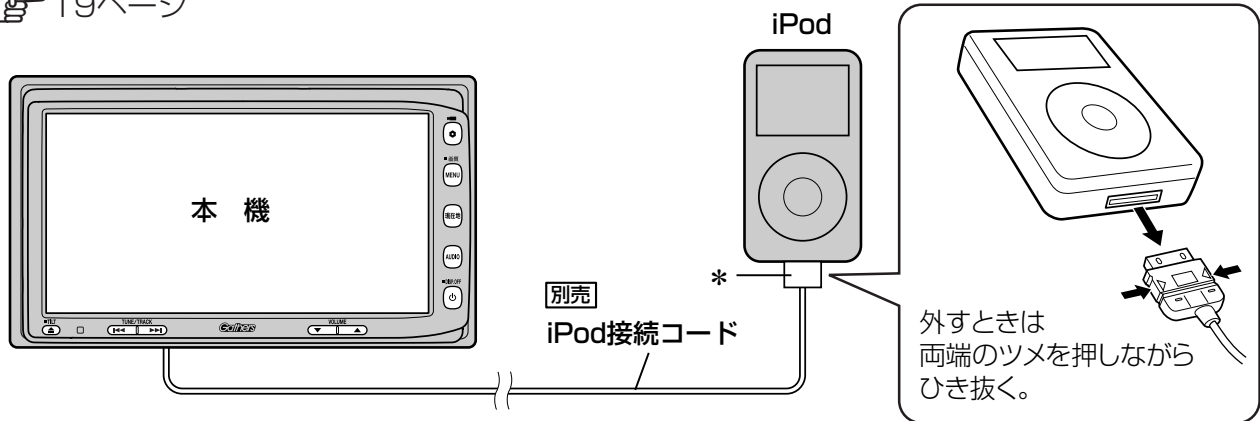
iPodについて(2)

iPodを本機に接続するには

■ iPodモードで再生させる場合

iPodを聞くには別売のiPod接続コードが必要です。

 19ページ

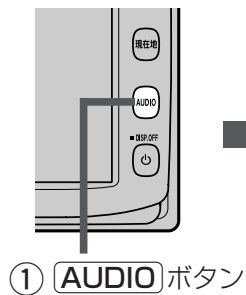


* : iPod接続コードの先端にはキャップが付いています。
接続時以外はキャップをはめてください。



アドバース


iPod接続コードを使用して再生させる場合は、AV MENU画面で **iPod** ボタンをタッチします。

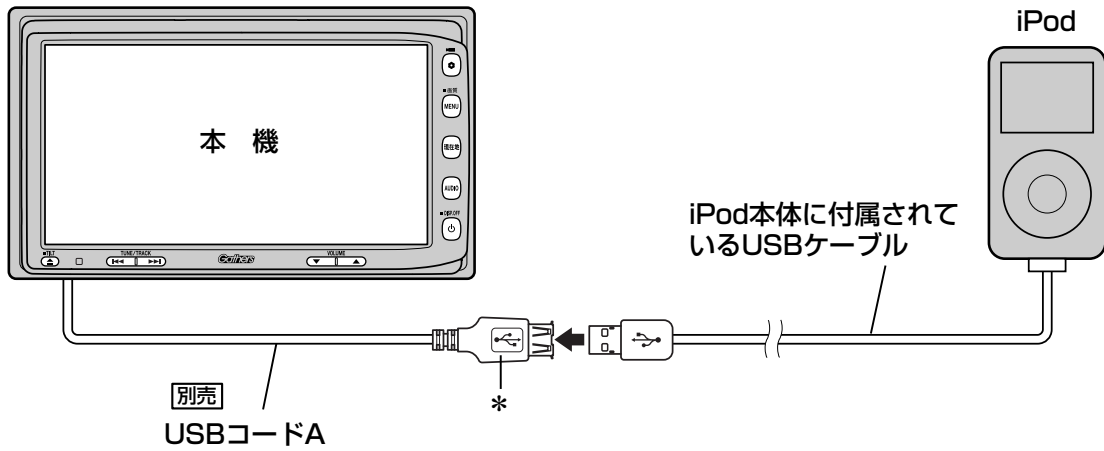


AV MENU画面



■ USBモードで再生させる場合

iPod本体に付属されているUSBケーブルと別売のUSB接続コードまたは別売のUSB接続コード&BeatJamに付属のUSBコードAを使用して再生させることができます。  19ページ



* : USBコードAの先端にはキャップが付いています。
接続時以外はキャップをはめてください。



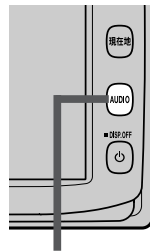
アドバイス

USBコードA/USBケーブルを使用してiPodを再生させる場合は、AV MENU画面で **USB** ボタンをタッチします。

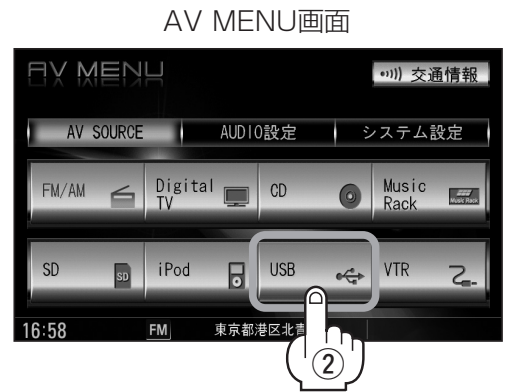
(USBモードでの再生となります。USBモードですが、再生中の操作はiPodモード時と同等操作となりますので「iPodを使う」276～289ページを参照してください。)

※USBモードでiPodを再生させている場合、ビデオモード(映像)は表示されません。

(**モード切替** ボタンは選択できません。)



① **AUDIO** ボタン



【接続するには】

iPod

【接続する】

iPodを本機に接続すると…

- iPodに収録されたデータが本機に表示されます。使い慣れたiPodの感覚そのままにタッチパネルを使用して操作することができます。
- 本機の電源ON状態でiPod接続中は充電ができるのでバッテリー消費の心配は不要です。
- 接続中はiPod本体を操作しないでください。
- iPodが正しく動作しない、エラーメッセージが表示されたときは、iPodを外してiPodをリセットしてから再度接続してください。
- 接続した状態でACCをOFFにすると約2分後にiPod本体の電源もOFFされます。

iPodを使う(1)

各部の名称とはたらき



① **トラック情報** ボタン

トラックの詳細情報を表示します。

② **トラックリスト** ボタン

トラックリストを表示し、トラックの選択が可能です。
(281ページ)

③ **切替** ボタン

時計のみ表示させて音楽を聞くことができます。
(355ページ)

④ **選曲モード** ボタン

iPodのミュージックリストから再生したい曲を絞り込んで再生することができます。
(282ページ)

⑤ **再生/一時停止** ボタン(▶||)

再生中にタッチすると音声が一時的に止まります。もう一度タッチすると再び再生が始まります。

⑥ **再生モード** ボタン

リピート再生やシャッフル再生をすることができます。
(288、289ページ)

⑦ **AUDIO** ボタン

AV MENU画面を表示します。

※ナビゲーション画面/FM/AM/Digital TV/CD/DVD/MP3/WMA/Music Rack/SD/USB/VTRモードからiPodモードに切り替えるときに使用します。

⑧ **電源** ボタン(⏻)

オーディオモードを開始/終了(OFF状態)にします。また、2秒以上長押しで画面を消します。

⑨ **トラック** ボタン(◀◀/▶▶)

好きな曲を選びます。また、このボタンを押し続けると早戻し(◀◀)/早送り(▶▶)します。
(280ページ)

⑩ **モード切替** ボタン*1

映像(iPodビデオモード)へ切り替えることができます。
(290~293ページ)

⑪ **VOLUME** ボタン

音量の増減を調整します。
▼: 音量減 ▲: 音量増

⑫ **Quick** ボタン

カスタマイズ機能を使用することができます。
(354ページ)

*1: USBケーブルを使用してUSBモードで再生させている場合は選択できません。[P] 275ページ

表示部(再生画面)について

再生状態表示

- ▶ : 通常再生
- ▶▶ : 早送り
- ◀◀ : 早戻し
- ⏸ : 再生一時停止

(例)



トラック名表示

音場(臨場感)表示

選択中の音場を表示します。
 31~33ページ
 ※音場を選択していない場合 (OFF選択時)は何も表示されません。
 ※イコライザ設定中は EQ マークが表示されます。
 34~37ページ

タイトル名 *2

トラック名表示

アーティスト名表示

アルバム名表示

再生時間表示

リピート/シャッフル再生時に表示

表示内容につきましては288、289ページを参照してください。

*2 : USBモードでiPod再生中の場合はUSBと表示されます。



- 表示内容はiPod本体で表示されるトラック名/アーティスト名/アルバム名となります。
- 本機は日本語/英数字のみ表示可能です。
- iPod本体で表示される~(半角波形表示)は、本機では-(ハイフン表示)となります。
- トラック情報表示のとき、タイトル名が表示しきれない場合、タイトル名(トラック名/アーティスト名/アルバム名)をタッチしてスクロールさせ、つづきを確認することができます。
 ※タイトル名が一巡します。また、スクロール中にタッチするとスクロールを止めます。
 ※画面上部のトラック名が表示しきれない場合は、トラック情報表示/トラックリスト表示のどちらからでもタッチしてスクロールすることができます。
- iPodのUSB接続再生について



USBモード

iPodをUSBモードで再生させている場合、iPodマークが表示されます。
 再生中の操作はiPodモードと同等となりますので「iPodを使う」276~289ページ、「iPodについて」272~275ページを参照してください。

ジャケット写真が付加されている場合は、トラック情報画面のときに表示されます。

iPodを使う(2)

iPodを聞く

※iPodを本機に接続していない/iPodになにも収録されていない場合、iPodの曲を聞くことはできません。

■ 他のモード画面を表示している場合

- 前回iPodモード画面でOFF(オーディオモードを終了)していた場合

- ① パネルの **電源** ボタン(⏻)を押す。
：前回最後に聞いていたトラックのつづきから再生を始めます。



① **電源** ボタン(⏻)

- ナビゲーション画面または前回iPodモード以外のオーディオモード画面の場合

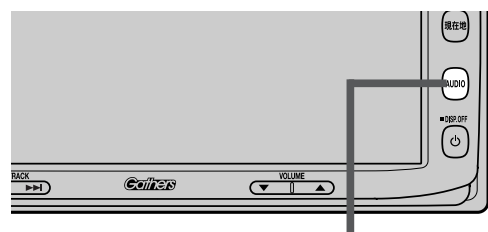
- ① パネルの **AUDIO** ボタンを押す。
：AV MENU画面またはラストモード*画面が表示されます。

- AV MENU画面のときは…
②へ進んでください。

- ラストモード*画面のときは…
もう一度 **AUDIO** ボタンを押す。
：AV MENU画面が表示されます。

* 前回最後に選択していたモード画面 (OFF含む)

- ② 画面の **iPod** ボタンをタッチする。☆
：前回最後に聞いていたトラックのつづきから再生を始めます。



① **AUDIO** ボタン

AV MENU画面



☆：iPod本体に付属のUSBケーブルを使用してiPodを再生させる場合は **USB** ボタンをタッチしてUSBモードで再生させます。

☞ 275ページ

■ 音量や画質、オーディオの調整をする場合

- ☞ 「音量を調整する」 26ページ
- 「画質調整のしかた」 27～29ページ
- 「オーディオの調整をする」 31～43ページ



アドバイス

iPodの音声を聞きながら地図を見たりナビゲーションの操作をすることができます。

☞ 「音声はそのまま、ナビゲーション画面を表示する」 24ページ

iPodモードを終了する

- 1 パネルの **電源** ボタン(⏻)を押す。
: 画面に“OFF”と表示されiPodの再生を止めます。(オーディオモード終了)

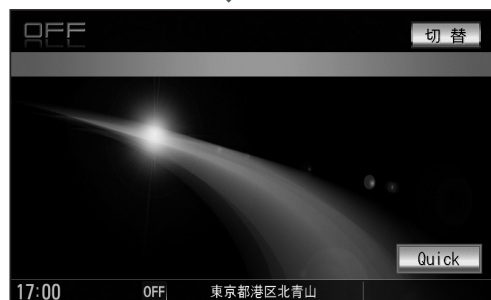


アドバンス

iPod本体を外すときはiPodモードを終了させてください。(OFF状態)



1 **電源** ボタン(⏻)



再生状態を表示します。

▶ : 通常再生

⏸ : 再生一時停止



再生を止める(一時停止)

- 1 画面の **再生/一時停止** ボタン(▶||)をタッチする。
: 再生を止めます。

■ 再び、再生を始める場合

画面の **再生/一時停止** ボタン(▶||)をタッチする。

: 再生を止めた続きから再生を始めます。

iPodを使う(3)

操作パネル上のボタンにて1曲ずつ選曲する(トラックを戻す/進める)

- 1 パネルの **トラック** ボタン(◀◀/▶▶)を押す。
: 前のトラックに戻る、または次のトラックに進みます。



1 **トラック** ボタン

■ 前のトラックに戻る場合

◀◀側を2回押す。

※1回押した場合は再生中の曲(トラック)の頭に戻ります。

■ 次のトラックに進む場合

▶▶側を押す。



アドバイス

画面をタッチしてトラックリストより選択することもできます。

「**トラックリストより好きなトラックを選び再生させる**」281ページ

早戻し/早送りをする

- 1 パネルの **トラック** ボタン(◀◀/▶▶)を押し続ける。

: 再生中の曲の早戻し/早送りをします。

再生状態表示

- ▶ : 通常再生
- ▶▶ : 早送り
- ◀◀ : 早戻し



1 **トラック** ボタン



アドバイス

それぞれのボタンから手を離れたところで再生を始めます。**トラック** ボタン(◀◀/▶▶)を押し続け、曲の始めまたは終わりにくると通常再生になります。

トラックリストより好きなトラックを選び再生させる

選曲モード(282ページ)で選択したボタン(全曲/アルバム/アーティスト/ポッドキャスト/ジャンル/プレイリスト/作曲者)のトラックをリストより選択再生させることができます。

1 画面の「トラックリスト」ボタンをタッチする。

：トラックリストが表示されます。

iPodモード TOP画面
(トラック情報表示時(例))



 iPodモードのTOP画面は選択するボタン(「トラック情報」/「トラックリスト」)によってトラック情報表示 / トラックリスト表示となります。

TOP画面(例)



トラック情報表示

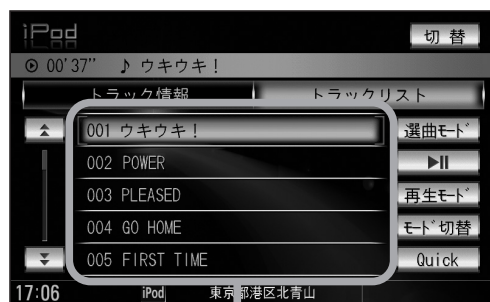
トラックリスト

ボタンタッチ

トラック情報

ボタンタッチ

TOP画面(例)



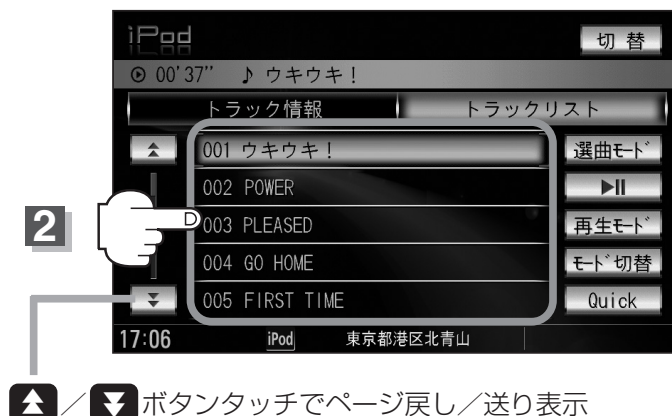
トラックリスト表示

※すでにトラックリスト表示になっている場合は上記手順 1 を省略することができます。


2 再生したいトラックをタッチする。

：選択したトラックが再生されます。

TOP画面
(トラックリスト表示時(例))



ボタンタッチでページ戻し/送り表示

 TOP画面をトラック情報表示に戻したい場合は「トラック情報」ボタンをタッチしてください。(上記アドバイス参照)

iPodを使う(4)

選曲モードより選択し再生させる

再生させたい曲を絞り込んで検索することができます。

1 画面の **選曲モード** ボタンをタッチする。

：画面右側に選曲モード画面が表示されます。



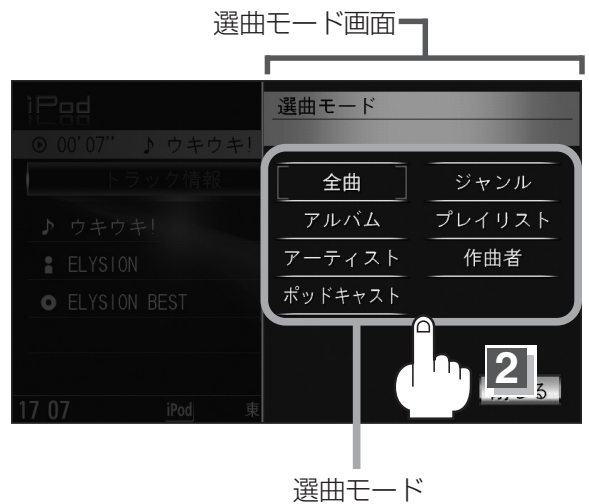
2 選曲モードより選曲する方法

(**全曲** / **アルバム** / **アーティスト** /
ポッドキャスト / **ジャンル** /
プレイリスト / **作曲家** ボタン)を
選択します。



アドバイス

- 選曲モードより選択した各ボタンに収録されている内容は、iPod本体に収録されている内容となります。
- iPodのデータが多くなるほど、各リストを表示させるまでに時間がかかります。
- 選曲モードを選択する前に **閉じる** ボタンをタッチするとTOP画面に戻ります。



■ **全曲** ボタンをタッチした場合

：トラックリスト画面の表示とともに、曲が再生されます。

①再生させたいトラックをタッチする。



：選択した曲を再生します。

■ **アルバム** ボタンをタッチした場合 : アルバムリスト画面が表示されます。

①再生させたいアルバムをタッチする。

: 選択したアルバムに収録されているトラックリスト表示とともに曲が再生されます。

アルバムリスト画面



すべて ボタンをタッチするとiPod内のアルバムのトラック表示とともに曲が再生されます。

②再生させたいトラックをタッチする。

: 選択した曲を再生します。

トラックリスト画面



■ **アーティスト** ボタンをタッチした場合 : アーティストリスト画面が表示されます。

①再生させたいアーティストをタッチする。

: 選択したアーティストのアルバムが表示されます。

アーティストリスト画面



すべて ボタンをタッチすると iPod内のアルバムが表示されます。

②再生させたいアルバムをタッチする。

: 選択したアルバムに収録されているトラックリスト表示とともに曲が再生されます。

アルバムリスト画面



すべて ボタンをタッチすると①で選択したアーティストに該当するトラックリストが表示されます。

③再生させたいトラックをタッチする。

トラックリスト画面



: 選択した曲を再生します。

iPodを使う(5)

■ **ポッドキャスト** ボタンをタッチした場合

：ポッドキャスト画面が表示されます。

- ①再生させたいポッドキャストをタッチする。



ポッドキャスト

：選択したポッドキャストに収録されているポッドキャストリスト表示とともにポッドキャストが再生されます。

- ②再生させたいポッドキャストをタッチする。



：選択したポッドキャストを再生します。

■ ジャンル ボタンをタッチした場合

：ジャンルリスト画面が表示されます。

①再生させたいジャンル(iPodに収録されているジャンル名の)ボタンをタッチする。

：選択したジャンルに該当するアーティストが表示されます。

ジャンルリスト画面



すべて ボタンをタッチするとiPod内のアーティストが表示されます。さらに **すべて** ボタンをタッチするとiPod内のアルバムが表示されます。さらに **すべて** ボタンをタッチするとiPod内のトラック表示とともに曲が再生されます。

②再生させたいアーティストをタッチする。

：選択したアーティストのアルバムが表示されます。

アーティストリスト画面



すべて ボタンをタッチすると①で選択したジャンルに該当するアルバムが表示されます。さらに **すべて** ボタンをタッチするとiPod内のトラック表示とともに曲が再生されます。

③再生させたいアルバムをタッチする。

：選択したアルバムに収録されているトラックリスト表示とともに曲が再生されます。

アルバムリスト画面



すべて ボタンをタッチすると②で選択したアーティストのトラック表示とともに曲が再生されます。

④再生させたいトラックをタッチする。

：選択した曲を再生します。

トラックリスト画面



ジャンルリスト画面に表示されるボタンの数(表示)はiPod本体に収録されている内容となります。(iPodの内容によってボタンが増えることも減ることもあります。)

iPodを使う(6)

■ プレイリスト ボタンをタッチした場合

：プレイリスト画面が表示されます。

①再生させたいプレイリストをタッチする。



：選択したプレイリストに収録されているトラックリスト表示とともに曲が再生されます。

②再生させたいトラックをタッチする。



：選択した曲を再生します。

■ 作曲家 ボタンをタッチした場合

：作曲家リスト画面が表示されます。

①再生させたい作曲者をタッチする。

：選択した作曲者のアルバムが表示されます。



すべて ボタンをタッチするとiPod内の全てのアルバムが表示されます。さらに **すべて** ボタンをタッチするとiPod内の全てのトラック表示とともに曲が再生されます。

②再生させたいアルバムをタッチする。

：選択したアルバムに収録されているトラックリスト表示とともにリストの一番上の曲が再生されます。



すべて ボタンをタッチすると①で選択した作曲者に該当するiPod内のトラック表示とともに曲が再生されます。

③再生させたいトラックをタッチする。



：選択した曲を再生します。

3

設定を終わるには…

画面の **戻る** ボタンまたは **閉じる** ボタンをタッチする。

： **戻る** ボタンをタッチすると1つ前の画面に戻り、 **閉じる** ボタンをタッチするとTOP画面に戻ります。



アドバイス

次ページがある場合 **▲** / **▼** ボタンタッチでページ戻し／送り表示をします。

iPodを使う(7)

再生モードを選択する(リピート/シャッフル再生)

再生モード(リピート/シャッフル)を選択することができます。

1

画面の**再生モード** ボタンをタッチする。

: 画面右側に再生モード選択画面が表示されます。

手順**2**で選択した再生モードがマーク表示されます。

iPodモード TOP画面
(トラック情報表示時(例))



2

再生したいモード(**リピート** / **シャッフル** ボタン)を選択します。

■ リピート(繰り返し)再生する場合

① **リピート** ボタンをタッチする。

再生モード選択画面



選択中の再生モードの
状態を表示

選択時点灯
状態を表示

: 表示灯点灯し、再生中の曲を繰り返し再生します。

- **リピート** ボタンをタッチするごとに下記のように用途が変わります。

今聞いているトラックの
リピート再生

(表示灯点灯/TOP画面で **REPEAT TRACK** マーク表示有)

通常再生(リピート解除)

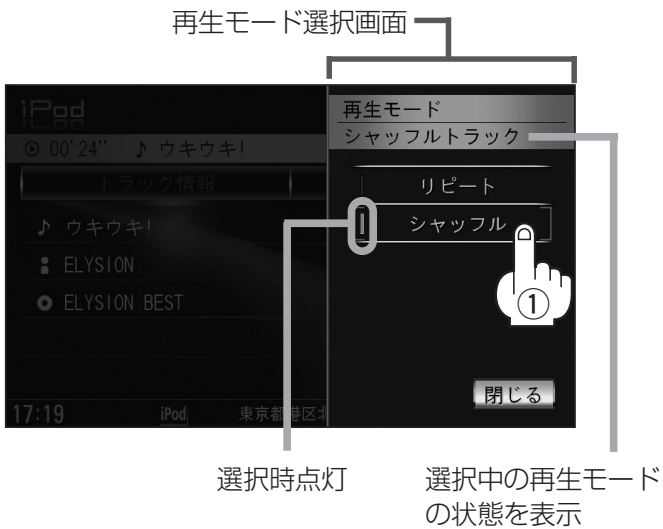
(表示灯消灯/マーク表示無)

■ シャッフル再生する場合

① シャッフル ボタンをタッチする。

：表示灯点灯し、シャッフル機能がはたらきます。

- **シャッフル** ボタンをタッチすることにより下記のように用途が変わります。



今聞いているリストの曲を
シャッフル再生

(表示灯点灯／TOP画面で **SHUFFLE TRACK** マーク表示有)



今聞いているリストを
アルバムごとにシャッフル再生

(表示灯点灯／TOP画面で **SHUFFLE ALBUM** マーク表示有)



通常再生 (シャッフル解除)

(表示灯消灯／マーク表示無)

〔再生モード選択(リピート・シャッフル再生)〕



曲が終わるごとに次に再生する曲を任意に決めるため、同じ曲が連続で再生されることがあります。

3

設定を終わるには…

画面の **閉じる** ボタンをタッチする。

：TOP画面に戻ります。



マーク表示がある限りそれぞれの再生を繰り返します。

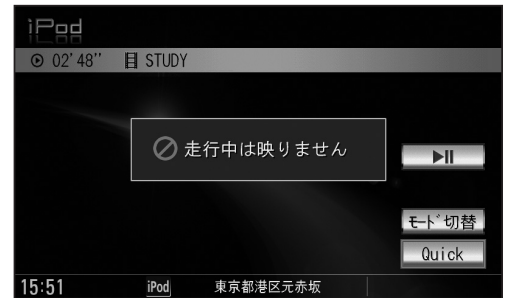
iPodを使う(8)

iPodビデオモードで映像データを再生させる

TV出力機能を備えたiPodの場合、iPodに収録されているビデオデータを本機に表示させることができます。

注意 安全上の配慮から車を完全に停止した場合のみ映像をご覧になることができます。(走行中は音声のみになります。)

iPodビデオモード(走行中)(例)



1 画面の **モード切替** ボタンをタッチする。

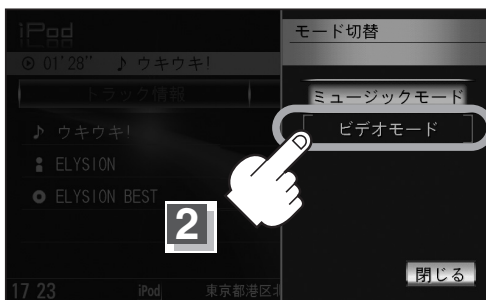
: モード切替画面が表示されます。

iPodモード TOP画面
(トラック情報表示時(例))



2 画面の **ビデオモード** ボタンをタッチする。

モード切替画面



映像(例)



: iPodビデオモードに切り替わり、映像が表示されます。



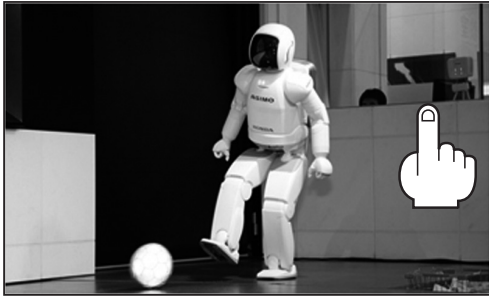
アドバース

- 走行中は音声のみになります。
- ビデオモードに対応していないiPodの場合は黒画面表示されます。

画面をタッチして操作ボタンを表示させ、**モード切替** ボタンをタッチしてミュージックモード(音楽再生のみ)に戻してください。
※操作ボタンが消えた場合は画面をタッチしてください。



※iPod touchの場合ソフトウェアバージョンによっては操作は可能ですが映像は表示されません。音声再生のみとなります。



画面をタッチすると操作ボタンを表示させることができます。



画面に表示されている操作ボタンを消して映像のみ表示させたい場合は **ボタン消** ボタンをタッチしてください。

※再び操作ボタンを表示させるには、画面をタッチします。

リスト ボタン…………… 動画リストより選択し、再生させることができます。☞ 292ページ

▶ || ボタン…………… 再生を一時停止します。もう一度タッチすると再び再生が始まります。

再生モード ボタン …… 再生中のビデオを繰り返し表示させることができます。☞ 292ページ

モード切替 ボタン …… ミュージックモード(音声再生のみ)と、ビデオモード(映像あり)の切り替えをすることができます。☞ 290ページ手順 **1**、**2** および292ページ

Quick ボタン…………… カスタマイズ機能を使用することができます。☞ 354ページ

iPodを使う(9)

■ 動画リストより選択し再生させる場合

①操作ボタン表示中に **リスト** ボタンをタッチする。



②リストより再生させたい動画をタッチする。

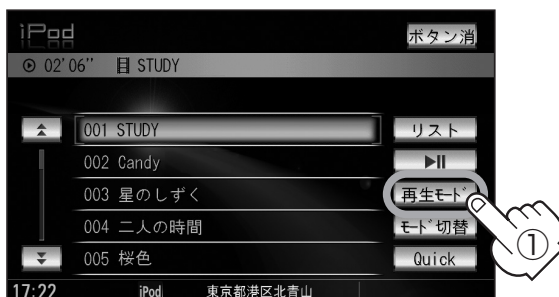


：選択した動画が再生されます。

※さらにリストが表示される場合は選択を繰り返してください。

■ 再生中の動画を繰り返し再生させる場合

①操作ボタン表示中に **再生モード** ボタンをタッチする。



② **リピート** ボタンをタッチする。

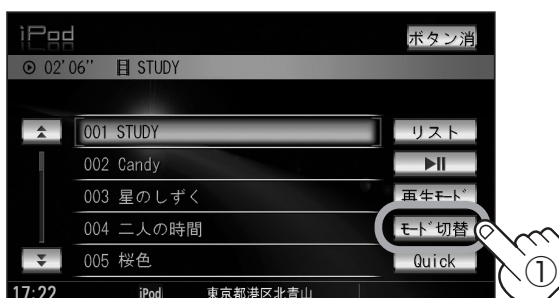


表示灯点灯しリピート機能が働きます。

※リピート再生をやめるにはもう一度タッチし表示灯を消灯させてください。

■ ビデオモードのときミュージックモード(音楽再生のみ)に戻す場合

①操作ボタン表示中に **モード切替** ボタンをタッチする。



② **ミュージックモード** ボタンをタッチする。



：TOP画面(音楽再生のみ)に戻ります。



アドバイス

- iPod本体から入力された映像や音声はiPodビデオモード(**ビデオモード** ボタンをタッチ)にすることにより見たり、聞くことができます。
- TV出力機能がない、映像データがないなどのとき、画面は黒表示となります。
- 走行中は安全のため映像は出力されません。iPod本体の操作はできません。
- TV出力の有無はiPod本体の取扱説明書またはiPodをお取り扱いの販売店でご確認ください。
- iPodビデオモードのとき、モードを変更したときはビデオモード画面を保持しません。もう一度手順 **1** (**戻る** 290ページ)より操作しなおしてください。
- ミュージックモードとビデオモードを切り替えたときは、それぞれの曲は保持しないでリスト一番上の曲からの再生となります。
- iPodビデオモードのとき、リストの各動画コンテンツ(情報の内容)ごとにリジューム情報(どこまで再生したか)をiPodがおぼえています。選択すると前回のつづき(再生位置)から再生が始まります。
- アーティスト/アルバムなどのタイトルを登録していないビデオは選択(再生)できません。
- USBモードでiPodを再生させている場合は映像データを再生できません。
(290ページ手順 **1** **モード切替** は選択できません。)
- **戻る** ボタンをタッチすると1つ前の画面に戻り、 **閉じる** ボタンをタッチするとTOP画面に戻ります。

